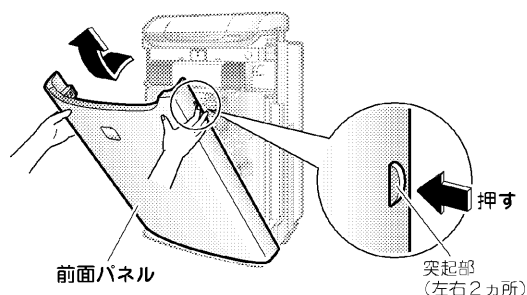
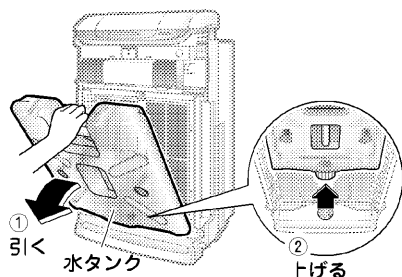
● 運転の前に必ず空清フィルターを取り付けてください。

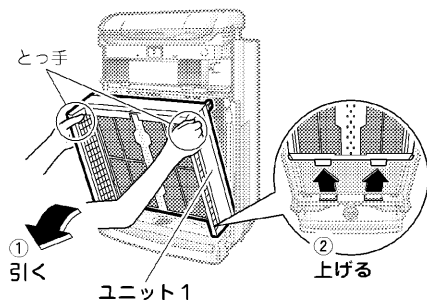
● 必ずプレフィルター（緑色）と空清フィルター（表：白色・裏：青色）を取り付けた状態で運転してください。
取り付けないで運転すると故障の原因になります。

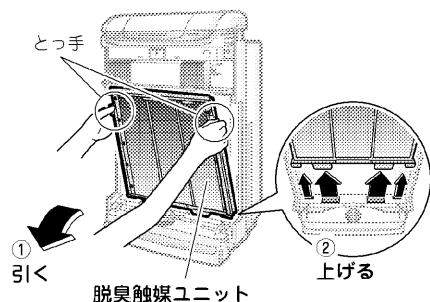
3 空清フィルター（プリーツフィルター）の取付け

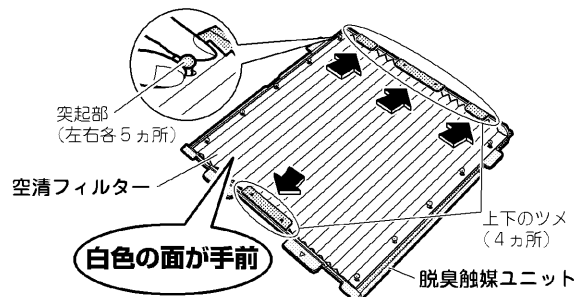
1 前面パネルを外す。

● 突起部（左右２ヵ所）を押して、手前に引き上げ、取り外す。

2 水タンクを外す。

● とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

3 ユニット1を外す。

● とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

4 脱臭触媒ユニットを外す。

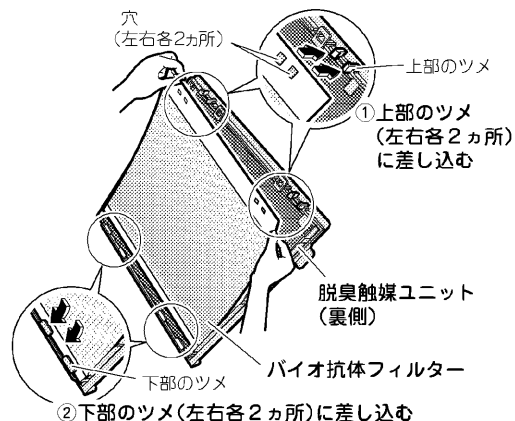
● とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

5 空清フィルターを取り付ける。

① 空清フィルターの左右の穴（各５ヵ所）を脱臭触媒ユニットの左右にある突起部（各５ヵ所）に引っかける。
② 空清フィルターを脱臭触媒ユニットの上下のツメ（４ヵ所）の下に差し込む。

● 空清フィルターをまちがって取り付けると、性能が低下します。

バイオ抗体フィルター（別売品）の取付け

バイオ抗体フィルターを取り付けなくても、空気清浄機の機能に支障はありません。

1 脱臭触媒ユニットを外す。

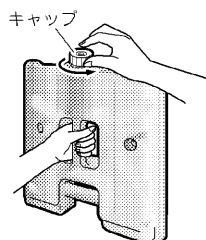
2 脱臭触媒ユニット（裏側）にバイオ抗体フィルターを取り付ける。

詳しくは、バイオ抗体フィルターに記載の説明をご覧ください。

お知らせ

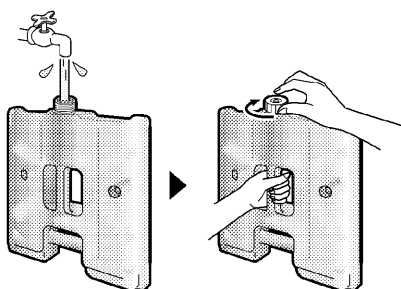
● バイオ抗体フィルターは別売品のため、付属されていません。ご入用の際は別途お買い求めください。▶裏表紙
● バイオ抗体フィルターはウイルスの除去スピードを速める専用フィルターです。空気が乾燥してウイルスが繁殖しやすい冬季などにお使いください。
● ご使用済みのバイオ抗体フィルターは不燃物ゴミとして処分してください。
（材質：ポリエステル／レーヨン系不織布）
詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。

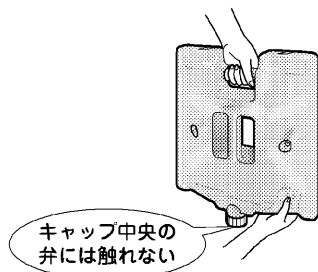
4 水タンクの準備をする

タンクに水を入れなくても、空気清浄運転はできます。

1 水タンクのキャップを開ける。

2 水タンクに水を入れてキャップを閉める。

水道水以外は使わないでください。
カビや雑菌が繁殖する原因になるおそれがあります。

- まわりが水でぬれてもよい場所で作業してください。
- **水タンクに少量の水を入れ、振り洗いしてから水を入れてください。**
  お手入れ方法は ▶22ページ

水タンクのキャップは確実に閉めてください。
水もれの原因となる場合があります。

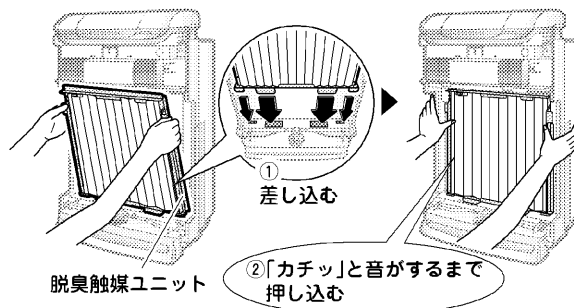
- 水の入ったタンクを運ぶときは、タンクのとっ手をしっかり持ってください。
- キャップ中央部の弁には触れないでください。
  タンクの水がこぼれます。

お願い

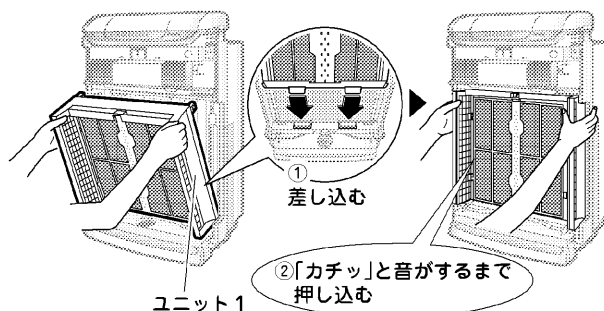
以下のような水は、水タンクに入れないでください。

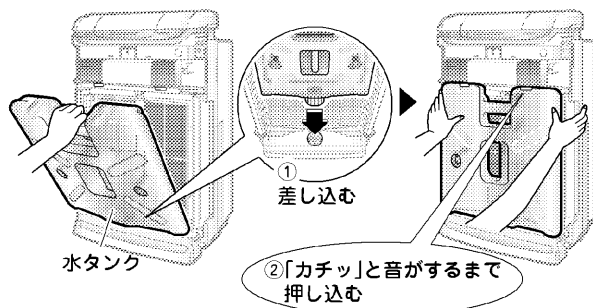
- 温水(40℃以上)、アロマオイル、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を入れた水など。
  本体の変形や故障の原因になるおそれがあります。
- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水など。
  カビや雑菌が繁殖する原因になるおそれがあります。

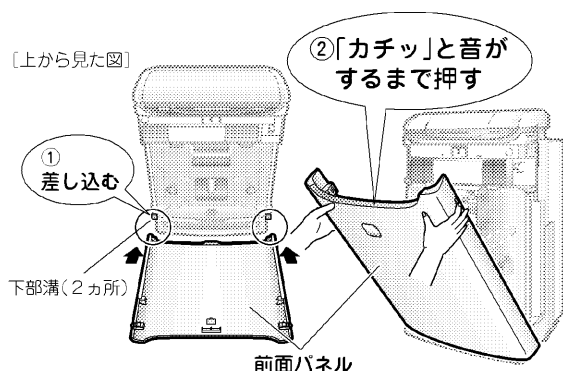
5 各部を取り付ける

1 脱臭触媒ユニットを取り付ける。

- とっ手を持ち、本体下部の溝(4ヵ所)に脱臭触媒ユニットの突起部を差し込んで、本体へ押し込む。

2 ユニット1を取り付ける。

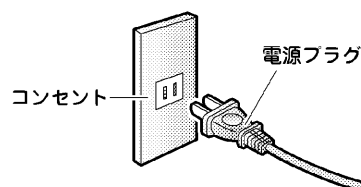
- とっ手を持ち、本体下部の溝(2ヵ所)にユニット1の突起部を差し込んで、本体へ押し込む。

3 水タンクを取り付ける。

- とっ手を持ち、本体下部の穴に水タンクを差し込んで、本体へ押し込む。

4 前面パネルを取り付ける。

- 本体下部の溝にパネル下部のツメ（2ヵ所）を差し込んでパネルを閉じる。

前面パネルが正しく装着されていないと安全スイッチが作動し、運転しない場合があります。 ▶16ページ

お願い

- 必ずプレフィルター（緑色）と空清フィルター（表：白色・裏：青色）を取り付けた状態で運転してください。
  取り付けないで運転すると故障の原因になります。

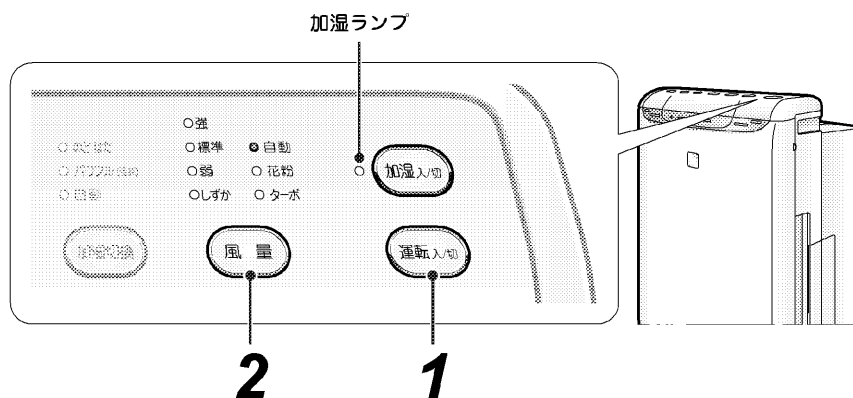
6 電源プラグをコンセントに差し込む

〈使用上のお願い〉

- **美術品や学術資料などの保存、業務用などの特殊用途には使用しない。**
  （保存品の品質低下の原因）
- **以下のような水は使用しない。**
  温水（40℃以上）、アロマオイル、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を入れた水など
  （本体の変形や故障の原因）
  浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水など
  （カビや雑菌が繁殖する原因）
- **加湿し過ぎない。**
  （室内の結露やカビが発生する原因）
- **凍結に注意する。**
  （故障の原因）
  凍結のおそれがあるときは、水タンクおよび加湿トレーの水を捨ててください。
- **使わないときは水を捨てる。**
  （汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因）
  使用しないときは、水タンクおよび加湿トレーの水を捨ててください。

空気清浄運転したいとき

■電源プラグをコンセントに差し込む

お願い

● 運転中に電源プラグを抜いて運転を停止しないでください。

1 (運転入/切) を押す。

● 前回加湿運転を行っていた場合、自動的に加湿運転を行いますので、 で加湿ランプを消灯させてください。

2 (風量) を押して風量を切り換える。

● 押すごとに風量が切り換わります。

→ 自動 → しずか → 弱 → 標準 → 強 → ターボ → 花粉 ┐

自動運転

空気の汚れ具合に応じて、自動的に風量（「しずか」「弱」「標準」「強」）を調整します。

しずか運転

微風運転となります。
就寝中などでの使用をおすすめします。

ターボ運転

大風量で空気の汚れをすばやく取り除きます。

花粉運転

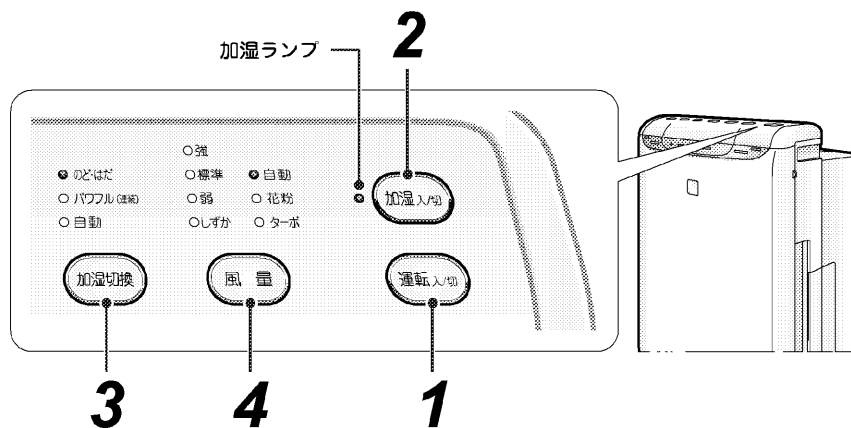
５分ごとに風量が切り換わり、ゆるやかな気流をおこして、花粉が床に落ちる前にキャッチしやすくします。

お知らせ

● 初期設定は、空気清浄運転、風量「自動」になっています。
電源プラグを抜いた場合や、前面パネルを外して再度運転した場合、また停止した後の次回運転時は、前回の運転内容で運転を行います。

加湿＋空気清浄運転したいとき

●運転中に本体を動かさないでください。水もれ、故障や誤作動の原因になります。

加湿運転時も、空気清浄運転を行います。（加湿の単独運転はできません。）

1 （運転 入/切）**を押す。**

2 （加湿 入/切）**を押して加湿ランプを点灯させる。**

● 前回加湿運転を行っていた場合、加湿ランプは自動的に点灯します。

3 （加湿切換）**を押して加湿モードを切り換える。**

● 押すごとにモードが切り換わります。

→ 自動 → パワフル(連続) → のど・はだ →

自動	しつど50％をめやすに自動で運転します。
パワフル(連続)	加湿が足りないと感じるとき、または連続して加湿をしたいときに選択してください。
のど・はだ	のどや肌にやさしいしつどになるように自動で運転します。

お願い

● 加湿フィルターを必ず取り付けて運転してください。

4 （風量）**を押して風量を切り換える。**

● 押すごとに風量が切り換わります。
●「のど・はだ」は風量「自動」になります。風量設定はできません。
● 風量を設定したい場合は、加湿モードを「自動」または「パワフル（連続）」にしてください。風量を強くすると加湿量も増えます。
● 風量「自動」の場合、空気の汚れ具合としつどに応じて、自動的に風量を調節します。
●「パワフル（連続）」で風量「自動」にした場合、風量は「しずか」「弱」にはなりません。

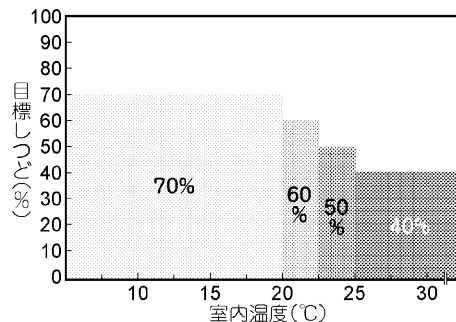
のど・はだ加湿について

室内の温度に合わせて、のどや肌にやさしいしつどに加湿します。
乾燥が気になる季節にお使いください。

● 目標しつどになるように風量を自動的に切り換えます。
● しつどを少し高めに設定しているため、外気温と室内温度の差が大きいと結露しやすくなります。

■室内の状態と運転内容

お知らせ

● 運転中は、水タンクの水が加湿トレーに供給される際にポコポコ音などの音がする場合がありますが、異常ではありません。
● 加湿運転中に設定しつどに到達したり、給水ランプが点灯すると、加湿運転は停止しますが、空気清浄運転はそのまま行います。
● 風量設定により加湿量は異なります。

お手入れ早見表

⚠ 警告

- お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。
（感電やけがの原因）

お手入れの際の各部品の取外しは、数字の順番に行ってください。

対向極板

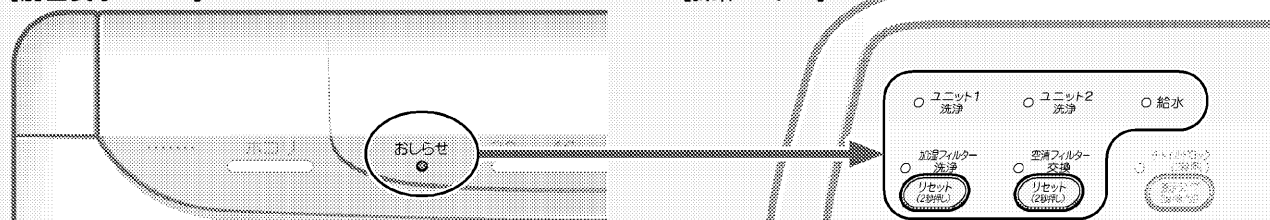
イオン化枠

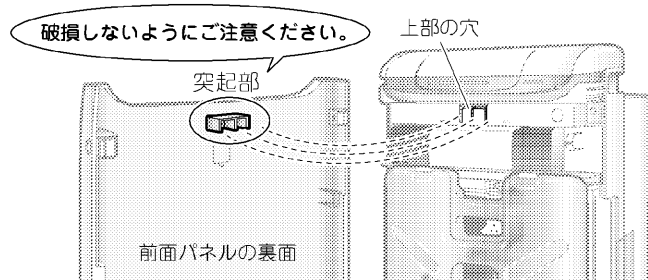
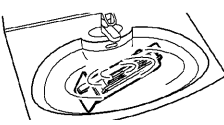
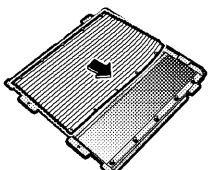
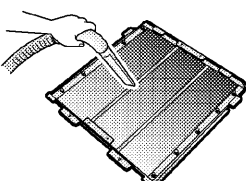
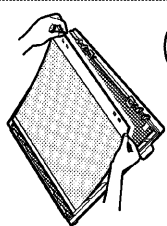
イオン化線

1 前面パネル	2 水タンク	3 プレフィルター	4 ユニット1（プラズマイオン化部）
			（上図は対向極板を取り外しています。）
汚れの気になるときに	給水のたびに	2週間に１度	「ユニット１」洗浄ランプが点灯したら
ふき取り	水洗い	そうじき 水洗い	つけおき
▶22ページ	▶22ページ	▶22ページ	▶20ページ

おしらせランプが点灯したら、操作パネルでお手入れ箇所を確認してください。

- 加湿フィルター洗浄ランプ、空清フィルター交換ランプ、「ユニット１・２」洗浄ランプ、給水ランプのいずれかが点灯・点滅しています。

［前面表示ランプ］　［操作パネル］

お願い

- 取り外した前面パネルは、表面が傷付いたり、裏面の突起部が破損しないように注意してください。
裏面の突起部は、パネルを開くと電源が「切」になる安全スイッチの役目をしています。
破損しますと、運転ができなくなりますのでご注意ください。

⚠ 警告

- 本体上部の穴の奥には 触れない。
（感電のおそれ）
- 誤って破損し、運転できなくなった場合は、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。▶35ページ

各部の取外し・取付けかたは
▶18, 19ページ を参照してください。

5 ユニット2（ストリーマユニット）

「ユニット2」洗浄ランプが点灯したら
または、ストリーマ放電の
音質が変わったり、小さくなったら

つけおき

▶21ページ

6 空清フィルター（プリーツフィルター）

空清フィルター交換ランプが
点灯または点滅したら

交換 水洗い不可

▶23ページ

7 脱臭触媒ユニット

汚れの気になるときに

そうじき 水洗い不可

▶22ページ

8 バイオ抗体フィルター

別売品

開封後約１年で

交換 水洗い不可

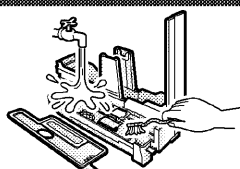
▶11ページ

加湿フィルター

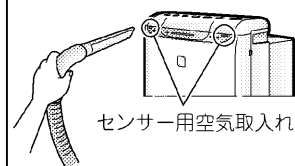
１ヵ月に１度
またはニオイや汚れが
気になるとき

つけおき

▶24, 25ページ

加湿トレー

１ヵ月に１度
またはニオイや汚れが
気になるとき

水洗い

▶24, 25ページ

本体・センサー用空気取入れ口

ホコリなどがたまったら

そうじき **ふき取り**

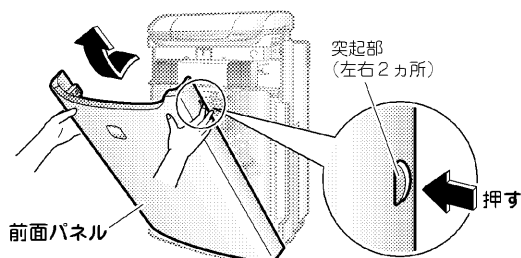
▶22ページ

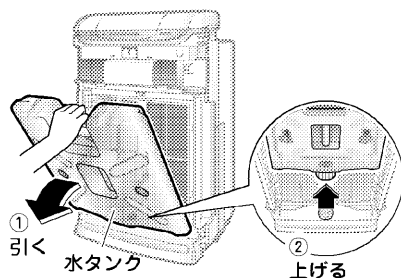
加湿トレー、加湿フィルターをお手入れする際は、先に①前面パネル、②水タンクを取り外してください。

各部の取外し・取付け

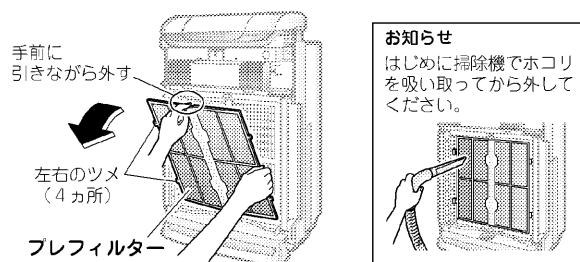
取外しかた

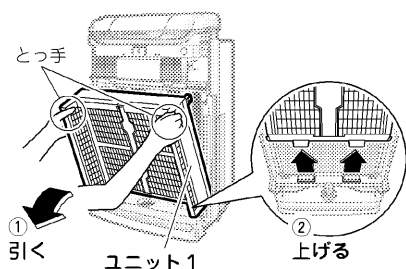
1 前面パネルを外す。

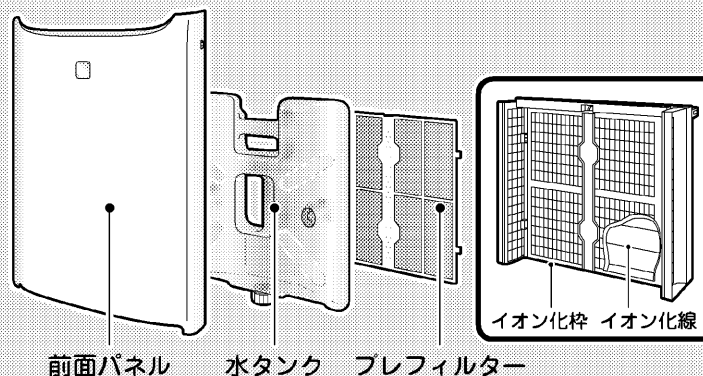
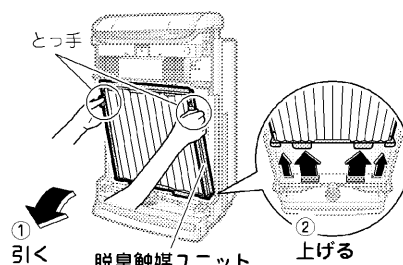
- 突起部（左右２ヵ所）を押して、手前に引き上げ、取り外す。

2 水タンクを外す。

- とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

3 プレフィルターを外す。

- 上部の凹部に指を引っかけて手前に引き、左右のツメ（４ヵ所）をユニット１の左右の穴（４ヵ所）から外す。

お知らせ
はじめに掃除機でホコリを吸い取ってから外してください。

4 ユニット1を外す。

- とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

5 脱臭触媒ユニットを外す。

- とっ手を持ち、手前に引き上げ、取り外す。

ご注意

- 対向極板の取外し、取付けの際は**ゴム手袋**を使用してください。対向極板、イオン化線で手を切るおそれがあります。

対向極板の取外し

取外し

- 白色と緑色のツマミ部（左右２ヵ所）を同時につまんで、対向極板を持ち上げて外す。